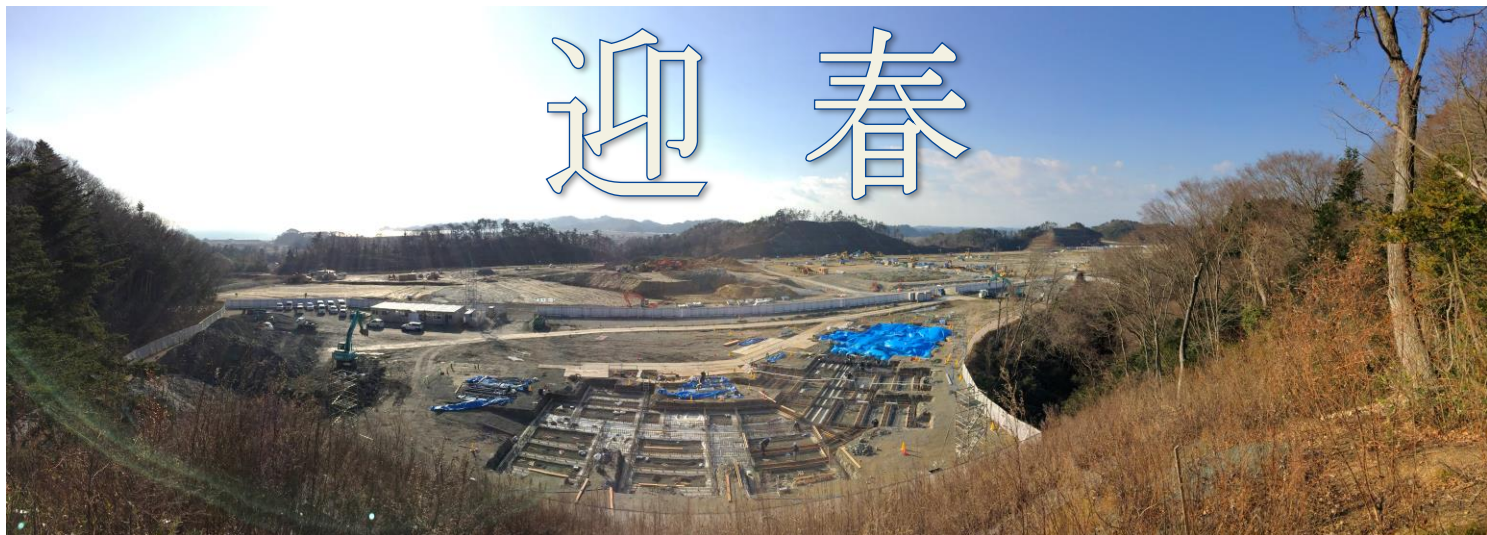


野蒜復興新聞

迎春



▲建設中の宮野森小学校近隣。奥には海が見える。

野蒜まちづくり計画の完成、宅地の引き渡し開始、野蒜市民センター高台移設、宮野森小学校の完成…

復興が加速する年へ

明けましておめでとう!



野蒜まちづくり協議会
イメージキャラクター
マックン

第4回野蒜まちづくり計画策定検討委員会

12月13日(日)に第4回野蒜まちづくり計画策定検討委員会が開催されました。今回のテーマは「まちづくりへの住民参加の仕組みづくり」です。まず、氏が、まちづくりの宮原加するための動機づけと活動の効果的な実践についてハーブを用いた地場産業の例を紹介しました。これについて委員の方々と意見交換を行いました。議論が行われました。

第9回野蒜まちづくり協議会 役員会

12月18日(金)に第9回野蒜まちづくり協議会役員会が開催されました。本会開始に先立ち、市より「旧野蒜駅 震災遺構周辺環境整備」について説明があり、ラットフォームは震災遺構として残され、管理されていく予定であることが報告されました。また、来年度より、野蒜地域交流センター(Nまつぶ)の2階がPR館として整備され、地域外からの視察等に係る研修の受け入れや、地域住民が集えるような拠点となるほか、旧野蒜駅周辺を震災メモリアルパークとして整備する構想が報告されました。今回の役員会で、次回の見直し、説明される予定です。

野蒜と宮戸の魅力を再発見!
イモニウォーク奥松島2015写真展

野蒜地域交流センター(Nまつぶ)の1階交流スペースにて、イモニウォーク奥松島2015の写真展が開催されています。このイベントは、2015年11月に、野蒜と宮戸の奥まった魅力を発信することを目的に開催され、10の地点からスタンプを集めるイベントです。東松島市とバンダ・アチェ市(インドネシア)のJICA草の根技術協力事業の一環として実施されました。写真展では、国内外から集まった当日の参加者達の様子や、秋の野蒜と宮戸の風景をそれぞれ思い思いに楽しんでいる様子を伺うことができます。国際色豊かな、新たな野蒜と宮戸の魅力を感じる事ができそうです。この写真展は、2016年の3月頃まで開催予定です。



▲国内外を問わず多くの参加者が野蒜と宮戸の魅力を楽しんでいる様子が見られます。

野蒜北部丘陵振興協議会
会長より新春のご挨拶



会長 齊藤 均

新年明けましておめでとうござい
す。よき新春をお迎えのことと、お喜び
申し上げます。

東日本大震災の発生から5年目を迎
えようとしております。この間、皆さま方
には震災の厳しい状況を乗り越え、野蒜
地域の復興にご尽力、ご協力を頂いてい
ることに心から感謝を申し上げます。

野蒜北部丘陵地区の整備状況に於いて
は、高台の名称が『野蒜ヶ丘(のびるが
おか)』と決定したことや、2015年
11月に開催された臨時総会にて、宅地
引き渡し時期が1ヶ月から2ヶ月程度早
まるとの発表があるなど、大きく進展し
ております。また、2016年12月には
宮野森小学校も完成予定です。協議会
では、これからも皆さま方お一人お一人
の提案、提言を大切に、関係機関と協議
しながら、一日でも早い野蒜地域の復興
の一助となるよう努力してまいりたいと
思います。

今後ともご理解とご協力を頂きますよ
うお願い申し上げます。
結びに、皆さまのご健勝とご多幸をお
祈り申し上げます、新年のあいさつと致しま
す。

野蒜北部丘陵振興協議会

第11回災害公営住宅部会

「希望エリア等申込書」

<提出期限>

平成28年1月8日(金)

<提出場所>

市役所建設課復興住宅班

鳴瀬庁舎内 電話:0225-82-1111(内線 2263)



関係課との協議が行われています。



色彩等計画コンセプトも示されました。

12月17日(木)に第11回災
害公営住宅部会が開催されま
した。現在146世帯が野蒜
高台の災害公営住宅に仮申込
みをしています。年末から
年明けにかけて、「エリア」
「住戸形式」「間取り規模」
「住戸プラン」の4点につい
て、146世帯の「希望」を
確定させるための手続きを行
うこととなりました。

12月22日(火)から順次仮
申込み世帯に対し「希望エリ
ア等申込書」が發送されます
ので、お手元に届き次第、現
在の希望状況をよく確認の
上、希望の変更の有無を検討
し、建設課復興住宅班まで提
出してください。

平成28年度に実施する住戸
位置決めに向けた重要な手続
きとなりますので、皆様のご
協力をお願いいたします。

災害公営住宅入居までの今後の大きな流れ

